

### 【四日市港】

日 時：(第1回)平成23年9月29日(木) 10時00分～11時30分 …(○)  
(第2回)平成23年11月29日(火) 9時00分～10時30分 …(●)  
(第3回)平成24年2月19日(日) 10時00分～11時30分 …(◇)

構成員：(座長)四日市港振興会会長、(自治体)三重県、四日市市、川越町  
(経済団体・企業)四日市港運協会、四日市商工会議所、本田技研工業(株)、中部電力(株)、  
三菱化学(株)、昭和四日市石油(株)、コスモ石油(株)、東ソー(株)  
(関係行政機関)四日市港管理組合、四日市海上保安部  
(事務局)中部地方整備局

### 四日市港検討会議 構成員からの主な発言内容

#### 1. 地震・津波対策の現状について

- 四日市港霞地区には、就労関係者1万人。避難する場合には霞大橋1本しかなく課題。【民間】
- 岸壁(W15)の耐震化や、護岸の液状化対策を実施中。【自治体】
- M9に対応した津波ハザードマップを作成中。【自治体】
- 堤内への浸水を懸念。堤内地に避難ビルを指定。【自治体】
- 本日、津波避難マップ(暫定版)を公表・配布。【自治体】
- 地盤が低く、過去にも災害を受けてきた。また、護岸の老朽化・空洞化も確認されている。【自治体】
- ◇ 霞地区には、約10000人の従業員等がおり、避難路の確保が必要。【民間】

#### 2. 今後の地震・津波対策について

- 人の命が一番。
- 災害時に対応できるように臨港道路(霞4号幹線)や(コンテナ輸送の)耐震岸壁の整備を要望。【民間】
- 中央防災会議の検討を注視している。【民間】
- 中央防災会議の結果により整備のあり方を見直していく。【自治体】
- 第一に人命。次に緊急物資輸送手段の確保。さらには、名古屋港との連携を踏まえたBCP策定が必要。【民間】
- 臨港道路(霞4号幹線)の整備促進や(コンテナ輸送の)耐震岸壁の整備を要望。【民間】
- 護岸老朽化対策と液状化対策について特に期待。【自治体】
- 津波シミュレーションは各種実施し情報提供を。その中で最悪を想定し、対応を検討する。【自治体】

## 四日市港地震・津波対策検討会議（第1・2・3回）について

### 四日市港検討会議 構成員からの主な発言内容（つづき）

- ◇サイロ等、民間施設を避難施設として活用してはどうか。【民間】
- ◇基本方針に掲げた対策の着実な実行が大切。【民間】
- ◇企業単独での対策は限度がある。力強い連携が不可欠。【民間】
- ◇護岸は、コンビナートのみならず、背後地域も守る護岸である。護岸のかさ上げや液状化対策を要望する。【民間】
- ◇海側からの物資輸送のため、早期の航路啓開が必要【民間】
- ◇流出防止対策について連携して考えていきたい。【民間】
- ◇霞ヶ浦地区において港湾物流業者を中心とした協議会を設立し、避難に対する検討を始めたところ。今後、四日市地区についても同様に検討を進めていく。【自治体】
- ◇過年度に実施した護岸の老朽度調査結果をもとに、現在、整備の優先順位を検討中。優先順位の高い箇所から改良を予定。  
【自治体】
- ◇今回の津波シミュレーション結果では、霞ヶ浦地区の霞大橋の位置で津波が高い。この結果を踏まえて避難計画を策定する必要がある。【自治体】
- ◇津波避難マップの配布や避難ビルの指定するなど対策を講じているところ。防潮堤の管理など情報共有が重要。【自治体】
- ◇人命・資産を守るため、海岸堤防の強化、霞4号幹線の整備を進めてほしい。【自治体】
- ◇港湾関係において、津波対策における制度を充実させていきたい。【国】
- ◇今後、中央防災会議の検討を踏まえ、適切な役割分担の下、対策を具体化させていきたいと考えている。【国】
- ◇この会議では、5連動地震に対する新たな津波高さを示し、その対策の基本方針について皆様から色々なご意見を頂いたところ。この基本方針について、どのように実行に移していくかが重要であり、関係の方々のご協力のもと、できるだけ早急に実現していただきたい。【座長】

四日市港の実情や課題を踏まえつつ、関係者で戦略的に取り組むべき事項を示した「四日市港の地震・津波対策に関する基本方針」を協働で策定した。